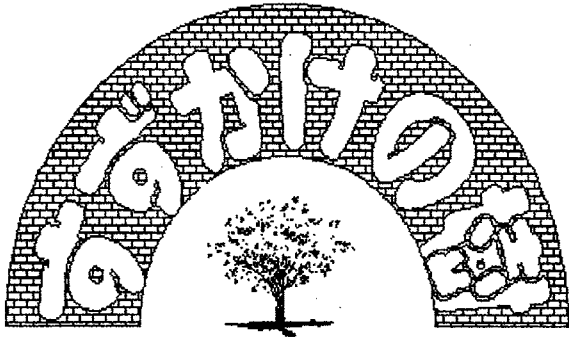




2017, 8, 10 発行 No.138

社会福祉法人 すずかけ福祉会

すずかけ共同作業所

愛知県小牧市南外山間島15-1 Tel.0568-71-3644 fax.0568-71-3649

さん

愛知県小牧市小針2-356-2 Tel.・fax0568-75-3991

すずかけホームそよ風・すずかけホーム虹の家

愛知県小牧市南外山佃81 Tel. 0568-76-8151

すずかけホーム青空・すずかけホーム太陽

愛知県小牧市小針2丁目356-1 Tel.・fax0568-75-2888

ヘルパーステーションとなり

愛知県小牧市小針2-356-1 Tel.0568-90-0111 fax0568-90-0112

リニア鉄道館に行きたよ

待ちに待った年1回の日帰り旅行！最近はず族館が多かったので少し目新しさを求めて、今回は「リニア鉄道館」へ見学に行く事になりました。

すずかけは人数が多いので2つのグループに分かれて行きました。先のグループの日は混み合っていて、ゆっくり見学の時間が取れず残念でした。食堂も混んでいたため、外の電車の休憩所へ避難！そこで駅弁を食べ旅気分を味わいました。じーっと外の風景を眺める仲間の姿がありました。早く発車しないかなーと思っていたのかな？後のグループは空いていて、ゆっくり見て回ることが出来ました。リニア模型の迫力に圧倒される仲間たち。吹き抜けの館内は暗かったり光っていたり、普段と違う雰囲気を感じていた仲間の姿が印象的でした。電車のゲームに挑戦した仲間もいたよ。

さらんは電車が好きな仲間が多いのでとても楽しむ事が出来ました。先に行ったすずかけの友達が、ホーム太陽にお土産を買ってきてくれ、皆で食べたのが嬉しかった仲間。「俺も買ってくるからね」と約束し、またホームで皆で食べたそうです。同じ場所へ行ったんだけど気にしない！素敵な話ですよ。お家で待っているお母さんにお土産を買って帰った人もいました。

電車のゲーム

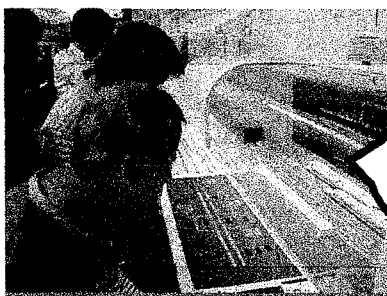
たのしかった！

またやりたいな



ボタンを押したら

電車が動いた！！



した。
1年間に1度の大きなイベントである日帰り旅行！普段仕事を頑張っているんだから楽しまなきゃね。来年はどこに行こうかなっ…

(職員 幅田)

「我が事・丸ごと」地域共生社会を目指す

「地域包括ケアシステム強化法案」が強行採決！

○国は何を目指してる？

5月26日、森友学園問題で混乱している国会で、厚生労働委員会の審議中、与党は一方的に審議を打ち切り、「地域包括ケアシステム強化法案」を強行採決させました。

○地域包括ケアシステム強化法案ってなに？

そもそもこの地域包括ケアシステム強化法案とは、国は「介護保険等の一部を改正する法案」として介護保険を正面に出しながら提案していますが、実は障害分野が関わる障害者総合支援法だけでなく健康保険法、児童福祉法、社会福祉法、生活保護法などなんと31本の法律が含まれる見直し案で実態として、国民の福祉と生活に関わる重要な法案を一括で見直すというものです。

この法案が出されるに先立ち厚労省は「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部という組織をつくり、地域共生型社会を目指すとしています。「社会情勢の変化から家族や地域住民のつながりが希薄になつてきている」「縦割り制度故の社会からの孤立や制度の狭間で困窮する人を出している」とし「生活困難者を他人事とせず我が事」ととらえ、地域住民が相互に支える包括的支援体制をつくる「丸ごと」の視点が必要としていて、公的責任から「互助」「共助」の理念へ差し替える動きと見ていいものと考えます。その第1段の法改正が「地域包括ケア強化法案」です。

さてよく考えてみると、貧富の差や非正規労働者の問題、子ども

の貧困などどれも国の「国民の福祉」より経済を優先させた政策に由来しているものです。さらに必要性があるから増えて当然の年金や介護報酬をカットや、生保の切り下げなど常に見える社会保障費の抑制政策がこれらの困窮者を生み出している事実は触れられておらず、「本気で問題に向かう気があるのか？」と怒りすら覚えてしまいます。

今回のこの法案、先に書いたように福祉に関わる様々な分野の30を超える法律、政令204、省令574もの項目が見直しの対象になっているようです。報告によると細かいことはほとんど決まっておらず、政府（政令）や厚労省（省令）が「やります」といえばやっていいことになっている「白紙委任状」のような内容だとか！恐ろしいですね。これほど大きな意味「怖い」見直しなので、子ども・高齢者はもちろん障害者にとっても大きな影響が出ないわけはありません。これをきちんとした説明がないまま強行採決で通してしまったことは納得できません。自立支援法違憲訴訟の中で交わされた基本合意の中にある「障害者や関係者の意見を聞き施策の立案・実施にあたる」としていますが、また政府や厚労省は過ちを繰り返すのでしょうか？

○「我が事・丸ごと」が目指すものってなに？

今回の法案の中では明らかにされていませんが、過去の厚労省のデータからまとめるとその目的は推測できます。

・サービスを効果的・効率的に提供するために生産性の向上が必要
「少ない人数でサービスの提供」（厚労省2015）という言葉だけ聞いているとどこかの工場でなにか製品をつくっているかのような単語が並んでいます。

・「ダブル資格習得」を可能にする。（介護福祉士と保育士など）

一人の職員で、高齢者と児童を同じ施設で受け入れを可能にする構想を例示しています。高い専門性が不可欠な福祉の職場で畑の違う掛け持ち職員にいい実践ができるとは思えません。

・「地域力の活用」と銘打って、地域の組織の運営をボランティアでまかなう方針を提示しています。公的な仕事をボランティアに押し付け、だれが責任のある仕事をするのでしょうか？

以上から考えると、安上がりな人員体制で様々なニーズにこたえることが目的とも取れます。例えば介護福祉士で保育士資格を持つている一人の職員が高齢者と乳児を受け入れるデイサービスと託児所を兼ねた施設でその運営をボランティア団体がやるというような恐ろしい光景が想像できます。そこに求められるのは深い専門性ではなく効率性だけなのでしょう。

○最後に…私たちは何をすべきか

今国の政策が大きく動こうとしています。自分たちの政策が破綻したこと、穴埋めに本来国家として一番力を入れるべき福祉の分野に「泣いてもらおう！」という姿勢を明確に出してきました。二言目には「継続可能な制度」を口に財源がないと主張します。一方で無駄な公金の使われ方がニュースでも報道されています。「お金はある。だれに付度するのかの違いだけか」とも言いたくなります。

さて、この地域共生型サービスはすでに（安倍首相のお得意）閣議決定や強行採決で動き始めます。でも、これらの上位法に障害者権利条約があり、さらにその上に日本国憲法があります。これらの上位法を根拠に、間違った法律には「間違っている！」と声をあげる必要を感じています

付度：相手の気持ちを推し量る事

ホーム施設長 光岡秀昌

「ヘルパーステーションとなり」ってどんな感じ？

すずかけ福祉会のヘルパーステーションが開所して、早いもので半年以上が経ちました。移動支援で出かけたり、自宅やホームでの入浴、食事の支援や通院の付き添いなどをおこなっています。

「次はいつ？」とジェスチャーをしながら移動支援を楽しみにするHさん。回数を重ねていくうちに、「この日に行きたいな」と自分の思いを出すようになったSさん。注射もヘルパーと一緒に「がんばった」と言うMさん。利用する仲間のいろいろな姿が見られます。

新しいことを求めるKさんは、ここ数年、家でも作業所でもなかなか不安定なことが多いです。そこでヘルパーの制度を使って家族以外の人と出かけることに。ある日、出かけた先で自動販売機をじっと見ていたKさん。「買つの？」と聞くと「そっだ」という顔。「どれにする？」と聞くと、迷わず炭酸飲料のボタン押しました。何度かそういう場面があり、ちゃんと選んでいるということが分かりました。それを日中職員に伝えると「炭酸好きなんだ！」と驚いていました。好調な日ばかりではないですが、やはり出かけることが嬉しいのか、お茶目な姿や笑顔が多く見られます。1対1でじっくり関わることや、普段と違う場面では、仲間の新しい発見があるのだと感じました。

ヘルパー事業所としては本来にまだまだですが、これからも日中、ホーム、ヘルパー現場それぞれが連携し、相談支援や他事業所と繋がりが学びながら、障害があってもその人らしい生活が豊かになるように、頑張っていきたいと思います。これからもよろしく願います。

（職員 森下）



★新ホーム建設に向けて

国の予算が付きました。

6月28日愛知県を通じて、現在計画中の新ホーム(2018年春開所予定)に国として「建設補助金をつける」旨の内示が出ました。これは国として計画中のホームを認めるという意味でもあり大きな山を一つ越えることができました。今後、設計事務所と具体的な調整や建設に向けた業者決定(入札)などまだまだ難題が山積していますが、一つ一つこなして来春の開所にこぎつけたいと思います。

★新しい仲間が増えました!

すずかけには、毎週水曜日に矢形啓子さんが来ています。働くことが好きでいろんな仕事に関わっています。穏やかですが仕事になると質問や報告をしっかりとします。

さらんには、一宮東特別支援学校を卒業したばかりの新人さんで堀田朔也さん。アニメやヒーローの歌をよく口にしています。周りの仲間も覚えて一緒に歌ったりしています。

初めての事が多く緊張する場面も多いですが、2人ともすずかけ・さらんの生活が充実してほしいなと思います。

★野菜の勉強会をしました

さらんでは、7月21日に学習会を開きました。今回のテーマは「野菜(畑仕事)」についてです。

前号でお伝えした通り、今年の春からさらんで収穫した野菜を、近所のスーパー「生鮮館 やまひこ」さんで販売しています。そこで、この機会に「良い野菜と売り物にできない野菜との違い」や「水の撒き方、野菜はどこから水と養分を取り入れ、成長しているのか」ということを仲間たちと学び合いました。

現物のトマトや畑の写真を用いて、仲間たちに分かりやすいように進めました。仲間たちは職員からの質問に現物を見比べながら、自分の考えを発表していました。

(職員 野村)



編集後記

最近車ドライブすることが多くアクティブよりどちらかというとインドアだった私ですが、外に出ていろんなものを見てみたい気持ちがあります。それはきれいな景色だったり、音楽だったり、有名な建物だったり…。その際、人と接することもあり幅広く活動的な生活になってきました。非日常的な活動は大事な息抜きだと思います。定年まで我慢して…という考えの人もいますが、体が十分に動く今、楽しいことは楽しんで辛いことは自分に返して、自分という人間をしっかりと作っていきたくて考えています。そう思った矢先、ついに母から「そろそろ結婚したら?」と言われました。「そうだね」と返しました。「出逢うべき人には出逢うべき時に必ず逢える」ということを今まで思ってきたのですが、それは行動しなきゃ意味がないですね。なのでこれから色んなところへ旅をしようかなと思います。(笑)

(編集者 K)